

# 東北大学大学院歯学研究科 インターフェイス口腔健康科学 第11回学術フォーラム

*Forum for Interface Oral Health Science*

## インプラント補綴における力学的考察

武田 孝之 先生

東京歯科大学インプラント科臨床教授

平成17年10月7日(金) 17:00 ~ 18:00  
歯学部A1セミナー室(歯学部基礎棟1階)

抄録：

最近のインプラントに関する話題は「審美性」、「再生医療と絡んだ骨増生」、「即時荷重、即時埋入といった治療期間の短縮」というものが大半を占めるが、臨床の現場ではよりシンプルで現実に即した結果を得ること、そして、治療結果が長期にわたり安定していることが望まれる。しかし、インプラントを適用する場となる欠損歯列を考えても、また、補綴後の経過を見ている、いずれも「力」による影響を受けたとしか思えない変化を来しているものも多く見られる。そこで、経過観察の中から見えて来た変化をもとに現在行っているインプラント補綴の一端を供覧させて頂き、今後のインプラント補綴と一緒に考えて頂きたい。

連絡先： 第11回モデレーター 佐々木啓一 (内線 8368)  
研究推進企画室長 高田春比古 (内線 8305)  
副研究科長 高橋 信博 (内線 8294)